



安積二小だより

創立150周年 「花と緑と思いやり ひとみ輝く 二小の子」

郡山市立安積第二小学校
学校便り【号外Ⅱ】
令和7年【夏休み発行】
文責：校長 齋藤和彦

子どもの“髪染め” について考えてみませんか

～PartⅡ～

【安積二小だより（号外）】にて、～髪染めについて、校長の考えを示しました。保護者の皆さんには、どのように伝わったのでしょうか。きっと、賛否両論..のことと思います。機を同じくして、ネット上で目にした意見記事がありましたので、掲載します。

「子どものヘアカラーはありますか？」
への納得の返事 「納得しました」

「友達も染めてる！私も染めたい」「夏休みだけ！」「大人だけずるい！」と小学生の子どもから言われたら..？

元美容師の Nao Ayumi さんは、親側から「小学生の子どもにヘアカラーはありますか？」とよく尋ねられたそうです。

親御さん達は、子どもの希望に応えたいがためか、美容師からの擁護や後押しを目的に質問されているような方も多かったそうです。

その際の返答は、「お洒落をしたい気持ち心底わかります。でも毎日『親御さんの目の届かないところで、悪い大人から守りきれ自信があるならいいと思います。』とお応えしてました。」と、Nao さん。

「学校などで決められたルールを逸脱した姿を周囲に見せれば、社会のルールを逸脱してきた悪い大人が近寄ってきます。親が守れる範囲に居てくれるならいいですが、子どもはルールがない世界を知った以上、好奇心が勝り、ずっと安全な場所には居てくれなくなります。経験上。子どもを守れるのは、親である自分でしかないと思って、ルールを破ることについて、他人に意見を求めず、他人と違うことをするという覚悟を決めて判断すべきだと、子どもを持った今も凄く感じます。」

「悪い大人が悪い顔して近寄ってくれば、お子さん自身で警戒もできるでしょう。」

ただ、私の経験上、子どもは突如悪くなるんじゃない、じわじわ染まる。気づいたら取り返しの付かない環境にたどり着いている。

私の友人もまずは悪い先輩に近寄られ、その人の紹介で悪い大人に出会い、じわじわ抜け出せない良くない環境に染まっていきました。お洒落をただけなのに。

うちの子は違うという意見もわかります。色んな理由があってお洒落をするのだし、色んな結果があって当然です。」

～※ これに、幼い頃に髪を染めることについてのリスク（肌への影響/健康被害等）の話が続いていました。

<この記事への..納得と共感のコメント>

「背中を押してほしいお客様の気持ちを理解しながらも、子供達と親御さんの未来を思った返答」「ルールはルール。やはり、ある程度守っていた方が良きです。じぶんのみをまもるためですね！」「感覚として共有している“ダメな理由”をこれほど明文化しているのに感動」「小学生の夏休みくらい一度好きな色に染めてもいいかな～なんて軽く思っていたが、悪いやつが寄ってくる可能性があるんですね。とても納得しました」「ちゃんと、これを説明できる親でありたいです」「身だしなみを整えるのは自衛です。この子はちゃんと親の目が行き届いている、親がしっかりしている。それだけでも牽制になる」

◆◇ 校長室より ◇◇

髪染め（号外）からの返信

～ “髪染め” ..よくそこに触れましたね。
～ うちの学校だったら、親から何言われるか..
～ 「全職員の総意です」って、いい学校ですね。
～ 全くその通り！でもなかなか言いづらい。
同僚の先生（先輩）から、このような声が返ってきました。ただただ、『子ども達の“安心して、思う存分学べる環境”が、よりよいものになるように』保護者と一緒に考え、保護者の皆さんの力と連動して、安積二小の子どもを育てていきたいと考えています。これからも。。